

ORIENTEERING JAPAN

**O JAPAN**

シンキングスポーツ・オリエンテーリング

'93/3

1993年〔平成5年〕3月10日発行

(毎月1回10日発行)

第10巻第3号通巻116号

昭和63年6月24日第三種郵便物認可



# 市民の森

(バージョン 5)



縮尺 1:10,000  
 等高線間隔 5m

# ORIENTEERING JAPAN

## ○ JAPAN もくじ

93/3月号・No.116

- 「O-JAPANからのお願い」  
編集(発行)責任者・田口 肇.....4
- 世界選手権と  
その予備セレクション途中経過  
村越 真.....5
- =SQUADのページ=  
「WOC93  
予備セレクションポイント」  
「1992エリートポイント」  
「来年度のエリートポイント得点方法」  
稲葉 英雄.....6-7
- =イベント・レポート=  
「山口県体育大会スキー競技」  
「第1回全日本リレーO選手権大会」  
「中国電子計算機専門学校O大会」  
「第9回ウェスタンカップリレーO」  
福田 良雄, 財間 定義,  
新谷 雅司, 岡本 忠佳,  
小野 盛光 .....8-10
- =O-FORUM=  
「競技中に地元の人から  
クレームを受けたら」西山 立.....11  
「普及活動について」小野 盛光...11-12
- =全国PC愛好会のページ=  
パーマメントコースりぼ〜と  
大塚 憲  
資料提供: 藤生 晃三.....13
- “スコード通信”“連絡協だより”.....16

[今月の表紙] O Lの普及は地域から。  
昨年11月, 編集者の居住する  
自治会でのやさしいO L大会。

[今月の地図] 編集者の所属するクラブ  
が管理するパーマメントコース  
地図。

ストリーマー

### APOCの報告書

確か昨年(1982年)の3月か4月のオーストラリアのO L機関誌“AUSTRALIAN ORIENTEER”に、1月に同国タスマニアで開かれたヴェテランズ・ワールドカップの報告書の遅れのことが出ていた。2〜3か月の遅れで早くも投書がくるほど、海外のO L先進国は厳しい(オーストラリアは日本と同時期にO Lが導入され、当初は同等の速度の普及進展であったが、最近では完全に先を越されてしまった)。昨年5月初め、日本で開催されたアジア太平洋選手権(APOC)の成績表(または報告書)は未だ公にされていないようだ。過去6回を数えるこの大会で、報告書の発行にこれほどの遅れを見たことは無い。どうしたことか。それに、失礼ながら普段口うるさいO Lタコのできたオリエンティア諸氏の、このことに対するコメントも聞かれないし、各クラブ会報の上でもほとんど触れられていない。どうしたことか。少なくともO-JAPANへの投書で、このことが少しでも書かれていたのは、昨年12月の中村威さんただひとりである(同号12ページ, 通巻1950ページ)。主催者の日本オリエンテーリング協会とは現在では全く関わりのないO-JAPANとしては、92年度ランキングの集計に影響するぐらいで、どうでもいいことであるが、編集者一人個人としては由々しいことに思える。前々回のAPOCミーティングの折にこの大会をアジアに招致してきた者として、アジアのリーダーとしての日本の一オリエンティアとして、このことを考えた場合、まことに遺憾に思えてくるのである。因みに第2回のこの大会(1982年1月)では、やはりその招致や開催運営を大いに手伝わせていただいたが、2月初めに英文の部分を持ち上げ(電動タイプを自費でレンタルし3日程で)、和文の部分と結合させるべく版下作成に回した記憶がある。そして3月頃には海外からの参加者に発送をしていた。来年1月には、早くも次回がニュージーランドで行なわれようとしている。また、日本から大勢遠征されるかもしれないが、余り胸を張って参加できたものではない。JOA事務局の怠慢は責められて当然である。

流人



# O-JAPANからのお願い

日本の経済界にとって、延てはOL界にとっても厳しい年明けから、早くも2か月余りが過ぎました。オリエンテーリング・スポーツに関する情報を幅広くみなさまにお伝えすべく、O-JAPANはこれまで毎月欠かさず発行を続けてまいりました。購読者のみなさま、中には発行以来10年の永きにわたりご愛読いただいている方々も多く見受けられます。そして忘れてはいけないのは発行協力者のみなさまです。頻繁にご投稿いただく方、イベントなどの記事に健筆をふるわれる方、そのような記事を集めていただく方、特に遠く海外まで自費でお出かけいただき特集記事をレポートしていただいた方、編集・版下作成にやはり自腹での協力を惜しまない方、購読者登録のコンピューター入力やシールの出力に連夜の作業を厭わない方、大会要項の折りや綴込み・製本・封入・糊付け・シール貼り・郵便番号記入・その番号毎/都道府県毎の束ね(第3種郵便物に課せられた作業)などの発送作業を労を惜みずお手伝いをお願いしている方々と、いちいちお名前を挙げませんが、これまで数多くの人達のお手を煩わし、今日に至りました。そして、この方々には、全て無報酬でご協力願っていることを忘れてはいけません。

さて、このように多くのみなさまの御蔭をもちまして、購読者数も一昨年度までは年々僅かずつながら増え続けて参りました。しかしながら、ついに昨年度はダウンの結果もあらわれました。この大不況の影響もありましょう。中高年のオリエンティアは減少の一途。大学を卒業し就職はしたものの、社会の厳しい現実には多分若い人々をオリエンテーリングにのめり込ませることに大きく立ちほだかっているのでしょう。新規購読者は思いの外増えませんでした。内容が面白くない、購読料が高い、発行が遅れがちで不定期だ、ということもよく伺っております。当方の努力が足りないこともあります。いくたびも書かせていただきますが、編集者はこのO-JAPANを「全日本オリエンテーリングクラブ」的なものの機関誌と位置付けて編集し発行を続けてきました。本来は日本オリエンテーリング協会の機関誌であるべき筈が、新

組織発足当初から本誌を無視し続ける協会一部役員の偏狭な態度が、そして事務局の無能力が、このボランティアにまかせっきりの編集・発行を引き取ろうとせず、さりとてこれに変わる広報誌を新たに刊行することもしないで、既に3年近くが経過しております。当分は、前記の「全日本OLクラブ」(最近では中部・北陸・近畿・中四国・西日本の各クラブ連絡協議会が活発な動きを見せており、度々の情報をいただいていることから、半ば連絡協議会の機関誌の役割も果たしつつあります)すなわち一般のオリエンティアの方々のための情報交換誌として日本オリエンテーリング協会(JOAなのかOA Jなのか?)とは無関係というスタンスで発行を続けます。

したがって、本誌は購読者のみなさまのものであり、みなさまからお寄せいただく記事や写真、そして情報で満たされるべきものです。これらが多ければ多いほど内容は充実し、編集者が時間をかけて拙文を書いて何とかページを埋めるより、発行も早くなります。ページが満たない時、海外誌の翻訳などでかたちを付けるほかないのです。記事が多ければ、赤字覚悟でページ数を増やすことやぶさかではありません。購読料の割高感もなくなるでしょう。そして、「みなさま」のオリエンテーリング誌ですから、ぜひ仲間を増やしてください。新規購読者をご紹介ください。購読料が増えれば、購読料の据置(過去5年間同額)はまだ先まで続けることができるでしょう。

O-JAPANは営利を目的としておりません。ほんの一時そのような方向を考えたこともありましたが、編集者自身の勤め人としての本業務との兼ね合いから、現在は「一クラブ」の会報を発行するような気持ちでO-JAPANにとり組んでおります。クラブの会報であれば会計報告をしなければなりません。最近行なった確定申告から簡単に数字を拾ってみます。

●収入金額	¥3,381,138
・購読料	3,388,520
・広告料	200,000
・繰越金及び雑収入	932,118
・前受金(本年1月以降の購読料預り金)	△1,139,500

●経費	¥4,292,885
・租税公課	92,021
・高価運賃	2,830
・通信費	813,500
・消耗品費	440,250
・備品	149,173
・印刷代	2,735,350
・雑費	59,761
●差引金額	△ ¥911,747

—昨年比で購読料が減った分収入が32万円ほど少なくなりましたが、支出も41万円ほど抑え、累積赤字も差引9万円近く減らすことができました。紙質を落とすなどで印刷代を削減したことが大きかったようです。

紙質を元のコートした再生紙に戻したり、カラー表紙にしたりということは、この累積赤字をゼロにするか、その見通しが立った時に考えたいと思います。ただ、前述のように記事・写真等がにぎやかになれば、ページ数を増やすことは考えています。なお、来年4月からは大きさをA4判に変更することをお約束いたします(全国の官公庁の公文書がこの大きさに変わりつつある)。

さて、最後に最も大きなお願いは、今後も継続してご購読いただきたいことです。大部分の方々は3月が購読期限となっております。開封郵便で毎号送らせていただいておりますが、その宛名シールの右下にナンバーがあります。

13-4321-9303 とある場合、最初の「13」は都道府県番号(13の場合は東京)、次の「4321」は登録番号(各人異なります)、そして最後の「9303」は購読期限を意味します。この場合は1993年3月までということで、来年の3月までの更新をお願いいたします(一般個人3000円、4月現在での高校生以下1800円、\*クラブ購読2700円)。昨年の更新の時3250円払い込まれた方が100人近くおられました。この方々のシールの末尾番号は「9304」になっております。購読料の払い込みは、11か月分2750円で結構です。いずれにしても、購読期限を毎年3月に統一させていただきたいのです。将来オリエンティア登録制が施行された時にそのデータをそのまま使えるように(年齢などは4月1日現在を生年月日から自動的に変換)、また内容の充実や

# 世界選手権とその予備セレクション途中経過

村越 真

今年は2年おきに行われる世界選手権の年で、10月上旬にアメリカ東部で開催されます。今年の世界選手権の特徴としては、1985年のオーストラリア以来8年ぶりに非ヨーロッパへ舞台を移したことで、ソ連・東ヨーロッパ各国の分裂・独立により新たな強国が参入すること（例えばリトアニア、エストニアなど）などが挙げられるでしょう。しかし、テラインはノルウェーのような氷河地形であり、小特微物に富んでいます。非ヨーロッパ開催とはいえ北欧有利にはたらくことが予想されます。

ここでわが国の代表選手の選考方法を簡単に説明しておきます。まず秋以降の指定7大会での予備セレクションにより男子20名、女子15名が選考されます（方法の詳細は0-JAPAN誌92/11号を参照下さい）。続く本選考は、全日本選手権、5月と7月の本セレクションレースによっておこなわれます。各レースのト

ップは自動的に選手として選考され、それにコーチ（男子：村越、女子：山岸）が選考する2名の計5名が代表選手となります。

現在、6レースが終わり、予備セレクションが大詰めを迎えています。残る全日本選手権で予備セレクションを終了し、4月・7月の本セレクションを経て日本代表が決まります。今回のセレクションでは、村越・鹿島田を除く安定した選手がおらず、各レースごとに上位が入れ替わっています。世代交代はなるのか、それともベテランが若者を選けるのか。全オリエンティアの皆さんのご注目を宜しくお願ひします。

これまでの予備セレクションの結果をまとめてみます（本稿は6戦目の早大会以前の成績によっています）。5戦を終えた時点の途中経過（ポイント）は1月号でお知らせした通りです。女子では既に、出田・宮川・福士・木植が予備選

考を通過しています（各指定レースの優勝者は無条件に通過となる）。高得点の宮本も加えて前回代表の5人が他を引き離しています。予想ボーダーは22点前後でしょうか。一方男子は、鹿島田・村越が1位通過を決めています。その他の前回代表は女子とは対照的に出足が鈍っています。最終的には30点後半の争いになると考えられますが、3戦得点していないが高得点を持っているという選手も数人おり、最後まで分からない展開です。今後のセレクションの行方にご期待ください。そして、日本選手団へのご支援ご協力を宜しくお願ひします。

なお、世界選手権への選考は、1983年以来、ナショナル・チームの支援団体であるスコードが主催しており、今回の選考もこのスコードが中心になっておこなっています。

## ナショナル・チーム代表選手紹介

1986年より、トップの競技者が集まってナショナル・チーム（NT）を組織しています。NTでは、選手の強化・育成、世界選手権への選手の派遣など、日本におけるオリエンテーリング競技レベルを高める各種活動をおこなっています。男子女子ともチームはA、Bおよびジュニアよりなり、Aチームには男女それぞれ日本を代表する選手がメンバーに選ばれています。

**稲葉英雄** 最近7年間で、風邪で欠場した石川を除き全日本ではすべて4位以内、そのうち4回は2位である。山梨と岐阜では1～2分の差でチャンピオンを逃しているし、7年前のインカレでも2位。シルバー・コレクターと称される。かたぎの社会人の中では最も安定し、かつ強いランナーといえる。前回の世界セレクションも、選手の座を逃したが、仕事の都合がつかうようであれば通過できる位置にいた。今シーズンは東日本しか出場できず、現段階での世界選手権予備セレクションのポイントは少ない。早稲田\*と全日本では調子をを整え、世界選手権を目指してくれることだろう。7月にパパになる。\*3位に入った[編集者注]

**鹿島田浩二** 前回の半年に渡る遠征で、実力を着け、村越以外には負けられないという自信も。プレセレクション、本セレクションはもちろん通過、すでに目は世界選手権そのものに向いている。目標は中堅国の仲間入りをすること。今シーズンは、走力は高まっているが技術的にラフになりすぎて、成績にムラがあった。とくに12月はインカレセレクション、東京都のリレーセレクションを外したが、肝心なレースは確実に押さえている。プレセレのレースでも3本で優勝している。



選手宣誓する稲葉選手  
(A P O C)



国沢選手（ユニバシアード）

**国沢五月** 昨年度は、鹿島田らと共に半年の遠征をし絶好調で、一橋大学のインカレ7位などにも大きく貢献したが、今シーズンは今一つ不調。成績の波が激しく、金星配給王（NT以外のメンバーに負けること）となっている。前回惜しいところで世界選手権への切符を逃しただけに、今回に期すものがある。ぬらったレースで確実に結果を出すことを心がければ、恐いものなしなのだ。

**羽鳥和重** 学生オリエンテーリング界の雄早稲田も、不思議なことに世界選手権の選手派遣には縁が薄い。山岸以後、まだ一人も世界選手権ランナーを出していない。その中で次のWMへの最右翼なのがこの羽鳥である。豊富な練習量に加え、昨シーズンあたりからは技術的にも力を伸ばしている。今シーズンは、波が大きいですが、それもWMへの飛躍のステップの一つなのかもしれない。

**中村弘太郎** 鹿島田、国沢と半年の遠征をした昨年は好調であったが、その後体調不良などで、今期の成績はいま一つというところ。長年のキャリアを生かした「うまいオリエンテーリング」には定評がある。コーチの多田も絶好調で、選手よりもコーチの方が最近速いんですよと首をかしげている。全日本では奮起を期待したい。

## WOC93予備セレクションポイント(早大大会まで)

【HE】	計	埼	東	千	朝	筑	早	【DE】	計	埼	東	千	朝	筑	早
1 鹿島田浩二	60	(20)	(18)	20		20	20	1 木植早生	44	(8)	(8)	14	(10)	15	15
2 村越真	59			20		20	19	2 宮本知江子	41	(12)	(12)	13	14	14	
3 国沢五月	52	16	(5)	19		17	(15)	2 宮川祐子	41		14	15	12		
4 羽鳥和重	50		(8)		15	19	16	2 福土淑子	41	13	(7)	(5)	15	13	(9)
5 樋口一志	48	19	19		10			5 金子しのぶ	38	(9)	13		11	(6)	14
6 広江淳良	46			17	(8)	14	15	6 高野由紀	34	11	11				12
7 鈴木康史	45	17			16	12		7 出田裕子	30	15	15				
8 鈴木卓弥	44	15			12		17	8 渡辺弥生	29			9	13		7
9 田代雅之	42	18				18	6 (3)	9 加納尚子	27	7	(5)	7	(6)		13
9 吉田勉	42		15			18	9	10 草野望	25	6		8		11	
11 滝川英雄	40	11	(10)	18	11		(10)	10 白井由美	25	10			3	12	
12 加賀屋博文	35				5	16	14	12 鈴木夕紀子	23			6	7	10	
13 稲葉英雄	31		13				18	12 渡辺初実	23		10	10		3	
13 井上健太郎	31	7			13	11		14 田島利佳	22		4	11		7	(4)
13 鈴木雄輔	31		16		1	14		15 酒井佳子	21			12		9	
16 富田吉郎	30	13				17		-----							
17 利光良平	29		14	15				16 濱田由紀	19			3	8	8	
17 中村弘太郎	29				16		13	16 小西陽子	19	14					5
19 河合芳尚	28	6	9	13				18 長谷川恵子	15	5					10
20 入江崇	27			17		10		19 田垣尚美	11						11
-----								19 三井由美	11	4	2	(1)	5	(2)	
21 平井均	26		11			4	11	21 志村聡子	10		6	4			
21 石井龍男	26	8	7	11				22 金並由香	9				9		
23 山岸倫也	25			9	8	8		22 奥山陽子	9		9				
24 元木悟	24	12			7		5	24 小林正子	8	1				5	2
25 菊池正昭	20		6			13	1	24 宇野明子	8						8
26 稲津隆敏	19	4			3		12	26 村越久子	7		3		4		
26 柏田金一	19	1				12	6	27 阿部真弓	6						6
26 森内知男	19				19			28 原和泉	5	3		2			
29 小河原成哲	18		12	6				29 石川恵美子	4					4	
30 竹内藤雄	17	10				7		30 吉川素子	3						3
31 中島陽一	14	14						31 船橋亜希子	2	2					
31 佐藤隆徳	14				9	5		31 深田幸子	2				2		
31 村井信哉	14			14				33 石黒佳子	1						1
34 福留深	12			3		9		33 岩谷ひろみ	1	1					
35 菅原琢	11	5	4				2	33 清宮秀子	1						1
36 小林哲	10			10				33 三沢かおり	1				1		
37 松葉敏則	9	9						-----							
38 松下愛則	8						8	(HEつづき)							
39 上坂寛之	7						7	45 竹沢聡	4			4			
39 香取伸嘉	7			7				48 綿貫徹	3						3
41 砂川貴幸	6				6			49 西田伸一	2				2		
42 武田光	5			5				49 南條伸穂	2						2
42 宇佐美俊哉	5	2	3					49 藤井範久	2		2				
42 小山博史	5	3		2				52 櫻井太郎	1			1			
45 玉木圭介	4				4			52 多田正純	1						1
45 中村一樹	4						4	52 澤田晴雄	1	1					

## 1992エリートポイント(早大大会まで)

【HE】				【DE】					
1 鹿島田浩二	100	29 小河原成哲	27	58 砂川貴幸	9	1 木植早生	74	22 長谷川恵子	25
2 国沢五月	85	29 菅原琢	27	58 芦名賢一郎	9	2 宮本知江子	73	23 吉川素子	22
3 羽鳥和重	75	32 竹内藤雄	26	58 茂木忠良	9	3 福土淑子	70	23 金並由香	22
4 村越真	74	33 福留潔	24	58 藤井範久	9	4 金子しのぶ	67	25 村越久子	21
5 広江淳良	72	33 B.ミル	24	58 竹沢聡	9	5 宮川祐子	56	26 原和泉	20
6 滝川英雄	66	35 森内知男	23	64 綿貫徹	8	6 加納尚子	53	27 田垣尚美	19
7 JORG VETTER	65	36 南條伸穂	22	64 澤田晴雄	8	7 田島利佳	51	28 石川恵美子	17
8 田代雅之	62	37 櫻井太郎	21	64 高橋政喜	8	8 高野由紀	49	29 下川陽子	16
9 樋口一志	60	38 Peter Hill	20	67 十川亮	7	9 出田裕子	45	30 宇野明子	13
10 鈴木卓弥	58	39 村井信哉	19	67 高島和宏	7	10 渡辺弥生	44	31 八尋弓枝	12
11 吉田勉	57	40 中島陽一	17	67 玉木圭介	7	11 鈴木夕紀子	43	32 岩谷ひろみ	11
11 鈴木康史	57	41 小林哲	15	70 大平洋介	6	12 草野望	40	32 千葉あかね	11
13 加賀屋博文	49	42 野中俊樹	14	70 岩淵芳典	6	12 白井由美	40	32 阿部真弓	11
13 入江崇	49	43 安斎秀樹	13	70 多田正純	6	14 志村聡子	39	35 堀川園子	10
15 鈴木雄輔	44	43 松葉敏則	13	73 小林圭	5	15 渡辺初実	38	35 船橋亜希子	10
15 利光良平	44	43 松下愛則	13	73 鈴木尚志	5	16 濱田由紀	36	37 吉澤由実子	8
17 井上健太郎	42	43 小山博史	13	73 西田伸一	5	17 三井由美	33	38 深田幸子	7
18 山岸倫也	40	43 吉村雅仁	13	73 塚本治三	5	18 酒井佳子	31	38 坂元祐子	7
18 稲葉英雄	40	43 田中政行	13	73 小日向秀夫	5	19 小西陽子	29	40 石黒佳子	6
18 富田吉郎	40	49 須田進	12	78 藤平正敏	4	20 奥山陽子	27	40 三沢かおり	6
18 河合芳尚	40	49 宇佐美俊哉	12	78 緒方賢史	4	20 小林正子	27	40 清宮秀子	6
18 平井均	40	49 香取伸嘉	12	80 菊池弘昭	3			43 篠原由子	5
23 中村弘太郎	39	49 上坂寛之	12	80 小山清	3			44 渡辺寿理	4
24 石井龍男	38	49 中嶋哲夫	12	80 瀬口洋治	3			44 角枝実	4
25 元木悟	35	54 清水和彦	11	80 永田芳樹	3			46 稻村仁美	3
26 柏田金一	34	55 岡安隆史	10	80 丸山浩史	3			47 下江範子	2
26 菊池正昭	34	55 佐々木良紀	10	85 狩野俊行	2			47 大村理香	2
28 稲津隆敏	30	55 武田光	10	85 青柳利明	2	88 平田正哉	1	49 田中真由美	1
29 佐藤隆徳	27	58 中村一樹	9	85 山田隆浩	2	88 矢萩靖	1	49 山下和子	1

## 来年度のエリートポイントの得点方法

▼次の12大会の最高クラスを指定レースとする。

公認山梨(4/25)、公認静岡(5/2)、東京大(6/6)、O-CUP第1日(8/7)、筑波大(10/17)、朝日(10/31)、東日本(11/7)、公認京葉(11/14)、西日本(11/21)、千葉大(?)、早稲田大(?)、全日本(94/3/20)

なお、指定レースの追加もあり得る。

▼男子は各レースの1位に25点、2位24点、3位23点・・・25位1点の得点を与える。

女子は各レースの1位に20点、2位19点、3位18点・・・20位1点の得点を与える。

▼得点の高い4大会の合計点を年間得点とし、この得点でランキングを決める。

▼全日本大会のH21E・D21Eクラスの得点者には、男子は3点・女子は2点の追加点を与える。したがって、男子は1位28点～25位4点・女子は1位22点～20位3点となる。

▼最高クラスと同じコースの別クラスがある場合は、両クラスの混合順位とする。(例：D21EとD19E)

▼男子の最高クラスが同レベルの2つのコースにわかれ、選手が無作為に両コースに振り分けられている場合は、両コースとも1位25点、2位23点、3位21点・・・13位1点の得点を与える。(例：HE1とHE2)

▼公認大会の19Eクラスでは1位15点、2位14点、3位13点・・・15位1点の得点を与える。ただし、この得点は順位の良い1大会だけ適用される。

※なお、エリートポイント'93(来年度)は、94年のワールドカップ出場資格の基準に使われる可能性があります。

スコード・稲葉 英雄



## 山口県体育大会 スキー競技

- 1993年1月30・31日
- 山口県玖珂郡羅漢山スキー場

地球の温暖化現象の影響を受けてか、西日本では年を追って降雪が少なくなっているようです。当地においても多分にもれず、このところ毎年中止の憂き目に会っていた山口県体育大会スキー競技会が、1月30・31日の両日、玖珂郡錦町の羅漢山スキー場に、15の市と郡から442名の参加、一般・高校・中学に分かれ、大回転、クロスカンツリー、スキーOL、リレーなど29種目の競技、男女総合の都市対抗に競いました。

積雪は30cmで、やや少なく、大会中止を決める1月28日に降ったもの。このため一旦中止決定が流され、これを追いかけるように開催の通知があるという異常なスタートとなりましたが、翌日からの関係者、特に地元や役員のコース管理に関する苦勞には頭の下がるものでした。

本州の最も西という地理的条件のため、積雪の少ない本県ですが、限られた積雪を生かした競技に意欲的に取り組んでいます。昭和46年1月17日、同じ羅漢山スキー場で催された山口県体育大会スキー競技会にオープン種目としてわが国初のスキーOLが行われました。この日はコース距離 3.129km、標高差 140m、6ポストで、県内のスキー指導員36名が参加したそうです。オリエンテーリングそのものが耳慣れない時代に、「スキーオリエンテーリング」と呼ばれる競技とは何か？と、他のスキー競技はそっちのけで、新聞にも写真入りで大きく報道され、OLそのものの宣伝にも大きく役立ったようです。

その後、積雪不良により中止の年もありましたが、オープン競技として定着、さらに強く推薦する方が多く、昭和51年の大会から県体育大会スキー競技会の正式種目に採用が決定、現在に至っています。

県体育大会の正式種目のため、だれで

も自由に参加するわけにはいきません。参加資格は全日本スキー連盟の登録者であることが、まず必要です。スキーを経験した人ならチャレンジするパッチテスト。SAJの1級に合格すると半ば強制的に入会を求められる、あの会員資格といえは分かるでしょうか。この点でオリエンテーリングほどフランクな参加条件のスポーツはないではありませんか？他のスポーツでは、会員登録つまり選手登録のされていない人の出場資格はありません。

次に居住地、あるいは勤務先でのスポーツクラブに登録し推薦してもらいます。各都市スキー連盟は傘下スキークラブの推薦者から人選し代表をエントリーすることになります。

スキーOLは、スキーをはいて行なうオリエンテーリングと解釈すればよいでしょう。スキーはアルペン用のものでもできないことはありませんが、目的からして距離競技用のもの、それも登坂力の良いフット用と呼ばれる滑走面にウロコ様の逆走防止のギザギザの加工を施したものが便利です。ゲレンデは一面の雪におおわれて、夏には全く通れないヤブの上をスイスイと気持ち良く走ることができます。特に、滑り降りる時の爽快な気分は、恐さが先行するため何とも言えない快感です。その代り、クマザサの中で転倒、板が外れたりするとこの上もなく惨めな気持ちに包まれるものです。

30日(土)正午に受付を済ませた参加者は、スキーを積んだトラックを伴ってバスで移動。今回は根雪が無く新雪。それも西日本独特の湿った重い雪のため、コースを短くセットしてあるなどの説明を受けつつ走る約1時間。広島県との県境の山中で停車、これより徒歩でスタートへ誘導されました。

一休みしている内に準備が整い、1分間隔のスタートが始まりました。雪が降ってスキーをはいている他は通常のOLのスタートと同じです。地図は岩国OLC製作「ばんぞう」1万分の1、等高線間隔10m、B4版にモノクロコピーをとったスキーOL用のものに、赤ボールペン

でポスト位置を記入したものです。

コース距離 3.3km、ポスト数7のポイントOLです。徳山市の代表はWSC徳山の弘中氏と私の2名。私が4番目、弘中氏が16番目のスタートです。弘中氏も含めスキーのベテランぞろい。如何に走力の不足をOL技術で埋めるかが勝負と思えます。①番目の鞍部を斜めにアタック、一気に滑り降りて道走り、②番目は道沿い、次がピークで尾根伝いに登るのに四苦八苦、クマザサに足をとられて...。スキーのうまい弘中氏に追いつかれる。④番目は等高線維持で、ここまで順調。⑤番目へ向かって尾根を走って行く時、コースセッターのつけた踏み跡の不自然さに地図の確認をした私と、直進した弘中氏。彼は一気に滑りポスト①へ、気づいてスタートを回って道路を走り大迂回し、北からポスト⑤へ。追走する他の参加者がパニックを起こしてしまって...。漁夫の利を得た私は尾根のヤブをかき分けかき分けポスト⑤へ直進、欄を越えてポスト⑥へ。後は道なりに⑥、⑦とチェック。最後の斜面は冠高原スキー場ロープ塔のラインに沿って一気にゴールイン。猛追の弘中氏を待つ。あの大迂回をしたにもかかわらず、スキーイングの腕に勝る氏は1分余を残してゴールイン。徳山市のワンツー・フィニッシュとなりました。

勝利の美酒、缶ビールでの乾杯の気持ちの良さは格別です。平成3年以降、2回流してやっと参加、でも義理は果たせました。

スキーの走力に加え、OLの方向決定技術をより要求するスキーOLは、冬ならではの競技と言えます。多少病みつきになりそうな気がします。

[RESULT TOP-3] 時間 得点

①弘中 進 (徳山市)	56:03	7
②福田 良雄 (徳山市)	57:09	5
③井上 淳 (長門市)	74:16	4

OLC吉備路・福田 良雄





## 第1回全日本 リレーO選手権大会

●1993年2月7日  
●東京都青梅市

【日寺】今年の2月は、珍しく都道府県対抗が二つ。第一日曜日の“全日本リレーO”&第二日曜日(淡路)での“第4回都道府県対抗社会人O”。

今回の日次は、大学生にとっては期末試験日程とからみ、支障の向きも在った。来年は、12月にセットを望む学生側の声を仄聞。

幸い晴天と、春頃の陽気に恵まれた。

【戸斤】実質の第1回全日本リレーOは昨年、石川県OAが主管した“全国都道府県対抗”であった。それを継承し、今回は東京都OAが主管したのだが、再度「第1回」を名乗り、総合優勝杯なども新調されていた。

今回のテラインは、'90. 6. 3 第12回東大会ならびに、'91. 5. 26第5回東

京都OAリレーO-Cup大会と同じ「草花丘陵」であった。

往時は、建設中であった「明星大」新校舎は、今日では第一学年生が使用中。首都で開催され、朝日新聞社後援なので、スタート風景を取材するため、朝日の取材ヘリコプターが爆音を響かせて上空に飛来し活況!

表彰式には、JOA会長も出席され、新調の大優勝杯・優勝旗などを親しく手渡されていた。

【人】選手権クラスには、男女別のエリート38・同シニア24・同ジュニア23・合計85チームが参加。(ほかに、H21・H20・H35・D21・MIXの一般クラスに合計102チームがエントリー)。

団体総合得点に有利となる「選手権のHE・DEを含む4クラス以上」参加は、福島・茨城・千葉・東京・神奈川・長野・岐阜・静岡・愛知・京都・大阪の11都道府県。結果として、団体得点順位は、①東京 ②神奈川 ③千葉 ④京都 ⑤静岡と決定した。

その他、選手権クラスに複数チーム参加は、岩手・宮城・群馬・埼玉・新潟・石川・三重・兵庫・岡山・広島・福岡の11県。

選手権クラスに辛うじて、1チーム参加は、秋田・栃木・奈良・島根・山口の5県。残りの20都道府県は、遺憾ながら選手権クラスに不参加。閉会の挨拶で、主管の都OA・伊藤会長が、次回は47都道府県すべてが参加しようと結ばれた。

島根OC・財間 定義

## 第9回 ウェスタンカップ リレーO大会

●1993年2月27・28日  
●京都府京北町  
京都府立ゼミナールハウス、  
京北町立運動公園

今回の大会は、全く新しい試みとして、前夜祭(カーボパーティー)により、オリエンティアの親睦と、クラブ同士の対抗意識を十分に盛り上げることができました。

京北町は、京都駅から約30キロ、JRバスで約1時間20分の周山街道沿いであり、標高300メートルの盆地に位置しています。土の香り、銀鱗、石楠花、杉木立と小高い丘の府立ゼミナールハウスがこの町の特徴です。

前夜祭は、残雪きらめく美しい杉林と野鳥のさえずりが聞こえるゼミナールハウスで午後6時から7時30分まで行われました。カーボパーティーはトライアスロンにも参加する久保喜正さんの発案で生まれたそうで、ユーモアあふれる寺嶋一樹さんの司会で始まりました。ビール飲み放題、テーブルに所狭しと並べられた料理の豊富さで、約130名の宿泊者達は明日の試合に備えて十分な炭水化物摂取に努めた次第です。また桜屋敷あき子さんのリードによるゲームで参加者相互の自己紹介をし合うなど楽しい雰囲気です。十分に楽しみました。

## 学校法人 中国電子 計算機専門学校 オリエンテーリング 大会

●1993年2月26日  
●広島市・比治山

同校から体育の授業を兼ねた校内オリエンテーリング大会を開催したいとの申し出があり、広島OLCの三好・江坂両氏の協力を得て開催しました。

専門学校である同校には運動場が無く、文部省の定める体育の授業時間消化のため毎年苦心しているようです。

聞くと、大阪にある同校の姉妹校が、大阪公園でスコアOLを実施し、たい

へん好評だったのでぜひ広島でもということになったそうです。

開催場所は同校の北側にある比治山となりました。広島大学OLC作成の地図があったことが決め手となりました。

競技形式は、平日で人手が無くポイントOLとしました。また、参加者約100名のほとんどが初心者のため、2~3人のグループを組むことにしました。

誤算といえば、かなり難しいポストがあったのにもかかわらず、我々が考えていた半分の時間でゴールしたチームがありました。賞品の新譜のCDが目当てだったとの噂もちらほら、同校の先生のしつやりの顔が思い出されます。

広島県OL協会・新谷 雅司



中国電子計算機専門学校の生徒たち

競技は、京北町立運動公園を、スタート・ゴールとして、周山街道の山林を利用したものでした。コース内の残雪は深い所で約30センチ、草木が溝を隠していたので何度も落ち込みました。第2、第3走者になると、雪で滑って泥だらけとなる人が続出し、全身まっ黒な人は、健闘をたたえられ皆で記念写真を撮っていました。「ラス前コントロール通過ボード」に掲示された速報により各チームとも選手の帰還時刻の予想をして、ゴール前に会場脇を走る選手を応援できたのは好評でした。

表彰式はメインスタンド前で行なわれ、表彰時にはメインポールにクラブ旗が掲揚され、チャンスをもにした入賞チームの満足した笑顔が印象的でした。

悪条件にもかかわらず周到な準備で大会を運営された方達および京北町の皆様方の御苦勞に対し感謝申し上げます。

志摩スペイン村・岡本 忠佳



カーボ・パーティのスナック

【ウェスタンカップ・リレーO大会】

【田寺】今年の2月は、“リレーO”が盛ん。第1日曜日の“全日本リレーO”11日の建国記念の日“関東学連団体戦＝リレー”&第4日曜日の“第9回ウェスタンカップ・リレーO”。

幸い好天に恵まれましたが、シャベット状の残雪が存在していた。

【戸斤】会場は、近畿の主力＝兵庫・大

## 愛知県指導者研修会

●1993年2月28日

●愛知県岡崎市

1月3日に名古屋市で行なわれた、新春OL大会以来の久々のレポートになりました。早朝はまだ雨が降っていたのですが、幸い雨も上がり、実技には大した影響もなくなりました。まずは本日の目玉の「自動記録取得システム」です。

このシステムは昨年の11月に岐阜県で開催された市民マラソン大会で初めて採用された記録装置です。従来マラソン大会ではストップウォッチでタイム計測する人と、ゴール順にゼッケンを読む人が存在し、タイムとゼッケンをつき合わせて参加者一人ずつのタイムを算出していました。しかしばばば不一致が生じていたそうです。そこで、このシステムは1gに満たない小型センサーを参加者に持たせて走り、発信機を持ったゴールを通過することで、誰が何時ゴールし

たかを正確に記録し、コンピュータ処理により、順位付けから、完走証の作成まで自動的にやってしまうことです。しかし1個の値段は2,000円もするため、誰が所有するかということが問題になります。このマラソン大会では機器はこの会社が持ち、大会の主催者は何回かの大会で払っていく形になっているそうです。OLではどのような持ち方があるだろうか。一つは大きな団体で持ち、大会主催者が持ち回り、参加料の一部に組み込んでいく形がある。また選手ひとりひとりに買わせて、選手自身の各種情報をデータベース化し、選手にも付加価値情報をフィードバックすることも可能です。

その後ポイントOLを実施したが、実際にそのシステムを使った計測でなかったのは残念であった。

午後は「エコロジー、テクノロジーとアウトドアスポーツ」と題して、マルハン側の江本さんより講演を戴いた。大きく分けて、2つのパートに別れていた。ハイテクのスポーツ用品。心理効果。そして私が最も感じたのは短時間であったが指導の効果をあげるのに重要なことは、指導を受ける者に「明確な目標を持たせることだ」と言われたことです。そしてこれがOLに最も欠けていることだと思います。「誰々さんのように世界チャンピオンになって見たい」というようにOLをイメージし、憧れてくれるようになれば、OLをやる人も少しは増えるはずである。学校でのOLやグループOLが普及に繋がらないのは、そんな憧れをまったく持っていないからだだと思います。憧れを持たすことにより、昨年の指導者講習会における村越真さんの話「各ステップにおける技術目標」が生きてくるはず。OLを知らない江本さんだけに「指導者にしては年配が多い」など他スポーツのコーチなどと比較して言われたらと思うが、刺激的な言葉でした。

最後にこの大会の運営に当たって戴いた愛知大学OL部の皆さんに感謝申し上げます。

阪・京都・関西学連のローテーション。今回は、京都の輪番。テラインは3年前（'90春）京都大学&京都女子大学によって調査・作図された「周山街道」が使用された。

【人】今回のエントリーは、128チーム（前回比-15チーム。これは、他ブロックの主要大会との重複が原因と思われる）。

島根OC・財間 定義

三河OLC・小野 盛光

## 競技中に地元の人からクレームを受けたら

●西山 立(サン・スーシ)

これに出ないと年が明けた気がしないという人のいる程、固定ファンの多いワンダラーズ元朝O.L.。私の場合、自宅から近いこともあってよく参加していますが、今年は競技を中断してポスト撤収するという変わった体験をしました。近所の犬の吠え声に赤ん坊が泣き出したことに立腹した地元の人がかんなのがあるからと、ポストを抜いて居合わせたオリエンティアに激しい口調で抗議していました。とてもポスト復元をお願いできる状況にはないと判断し、主催者に状況を報告することを伝え、ポストを抱えてスタート・ゴール地区へ戻りました。

災難といえば災難ですが、運営役員との話や大会報告書で、年末の忙しい時期に犬のいる家に挨拶に行っていたことを知り、また反省の弁もあったので、あの状況ではだれかがやらなければならなかったからと特に気にせず、忘れかけていました。そんな頃、届いた母校のO.L.C会報に載っていた元朝参加報告にあった一行の文に目が釘付けになってしまいました。(彼は私がポストを持ち帰った直後に現場を通ったらしい。)

「どんどん人が集まって来て、おじさんがいなくなると、回りのオリエンティアは口ぐちに、「正月ぐらい起きてるよな!!」とか、「こまかいことうるさいんだよ」と、好き勝手に言っていたのを聞いた時には悲しかった」

オリエンティアにはこのようなことを言う人はいないと思っていたので残念です。確かに参加者は地図上で通行可能の部分を通して来たところへ一方的に怒鳴られてしまう訳ですが、地元の人に見れば、目の前にいるのは参加費を払った消費者ではなく、自分達の生活のための土地を道楽のために拝借しているオリエンティア関係者の代表です。私が居合わせた時にも、抗議している横でパンチして去っていく人が何人かいましたが、O.L.の停滞が叫ばれている今、このようなことでオリエンティアの評判が落ちれば、簡単に衰退してしまいます。

主催者が事前に十分に地元と交渉したつもりでも、事前に予期しきれないことがあると、競技者が初めにトラブルに出くわすこととなります。競技中に地元の人から抗議を受けた場合の対応として

1. クレームの内容を確認する。
2. 主催者にその内容を伝え対処させる旨、相手に告げる。
3. 主催者に状況が伝わる前に走っている出場者がこれから現場に入ってきてしまうことをご了承頂く。(場合によっては、オリエンティアにわかるよう貼り紙などをする)

といった行動原則が必要だと思いますがいかがでしょうか。



### ＜4ページより＞

体裁の変更などで購読料改定の止むなきに至った時に備えて購読期限を同じにすることが必要かと思われるのです。

3月/4月何れの期限切れの方のうち未更新(過去数か月、大会会場等で既に更新された以外)の方には、本誌巻末に郵便振替用紙を添付いたしました。データに誤り等があれば加筆訂正の上、該当の金額をお払い込みください。手数料は当方で負担させていただきます。

\*印を付した「クラブ購読」ですが、O—JAPANは代表者または事務局などのご指定の宛て先にお送りいたします。

同じ学校・職場等のクラブで配布が容易な場合に、例えば10冊申し込んでいただければ、年間27000円で10冊ずつお送りいたします。クラブ購読のお申し込みは、これも巻末の「クラブ購読者登録書」をご使用の上郵送でお願いいたします。(コピー可)

以上、大部分のみなさまには継続購読のお願い、そしてその更新の前に、4月には通巻2000ページを飾る本誌の今後に向けて、ぜひ多数の方々のご協力をお願い申し上げます。

【編集(発行)責任者・田口 肇】

## 普及活動について

●三河O.L.C 小野 盛光

平成4年度の全国研究協議会の議題は「オリエンテーリングの普及推進の方策について」である。普及の話はオリエンテーリングが日本に導入されて以来ずっと語り続けられたテーマである。時には熟っぽく、時には困難さを訴える意見もあった。最近では諦めと言うか、悟りというか、やや声が小さくなってきた気がする。しかし、O—JAPANのO—FORUMにも最近、各号に1通位の意見はあるし、道標の会による「道標」にも普及についての意見も載っているように、普及を願う声は根強い。

オリエンテーリングがメジャーになるには、大きな障害があるということは多くの人が感じている。まず競技場として他人の土地を使うことは多くの抵抗がある。トレーニングもままならないし、大会も簡単に開けない。また、よく言われる見えないスポーツ。これは知らない人にPRするには不利である。しかしマラソンは多くの交通をストップして開かれているし、森林を伐採して競技上を作るスキーはもっと大きな決断を要する。しかし、それを成し遂げているのはニーズである。人々の希望や要望の強さが困難を乗り越えて可能にしている。オリエンテーリングをやりたい人が多く存在すれば、障害を乗り越えることはそんなに難しくないと考える。また、昔はそんなにマスメディアが発達していなく、せいぜい新聞ぐらいしかなかったことを考えると、見えないことによってオリエンテーリングがそんなにハンディキャップを背負っているわけではない。では、オリエンテーリングがどこの国でもマイナースポーツのまま今日まで至っているのはなぜだろうか。「汚い」「きつい」だから「楽しくない」のだろうか。スキーだって「寒い」「怖い」「遠い」「金がかかる」と上げればいっぱい弱点を持っている。しかし他のスポーツには「仲間」がいる。多くの同好者がいて、いろんな仲間とプレーを楽しむことができれば最高である。

今まで私はオリエンテーリングの説明が難しく、自信がなく、「ああ、あの地図とコンパスを持って山の中を歩くやつですか」と言われるのがいやで、積極的



に説明することを避けてきた。日本人だけでなく、一般のアメリカやオーストラリアの人だってオリエンテーリングを知らないのだから、お国柄や徒歩オリエンテーリングのせいばかりではないと思う。日本に入って20余年経ってこのありさまだから、容易にオリエンティアが増えるとは考えない方がよい。

愛好者が増えれば、オリエンテーリングに対する理解も深まり、「土地や施設が借りやすくなる」「コンパス、靴やウェアの入手が容易になる」「地図などが大量に印刷でき、コスト軽減と活動費用の確保ができる」「堂々とオリエンテーリングができる」ようになるなどメリットは大きい。

愛好者を増やすためにはどうするのか。前愛知県委員長の加藤幹雄さんは、「もはや一本釣りしかない」と10年前前に言っておられたが、まさに一人一人を大事にし蓄積していく地道な活動を、スタート時点でたちかえり始めることが必要になってきた。

#### 年齢とオリエンテーリングへの取っ付き

競技力向上意欲  
(ライバル)

	競技力向上意欲 (ライバル)	仲間	楽しむ	金銭	度胸
小中学生	小	小	小	小	小
高校生	中	中	小	中	中
大学生	大	大	小	中	大
社会人	大	中	大	大	大

小中学生は金銭・時間の問題で大会参加を含めたトレーニングの場が制約されるため、この年齢層に競技人口の多くを求めるとは無理がある。しかし、将来の上級レベルのオリエンティア育成のため発掘を怠ってはならない。

大学生はオリエンテーリングを始めるのには適した年齢である。競技力向上も早く、意欲が沸く時期である。テニスやスキーもやりながらも仲間を増やして欲しい。また大学間の交流も盛んにやっておいていただくと、卒業後、また就職先やその地域でオリエンテーリングを続ける動機になる。

卒業後の問題が言われてから久しい。私の所属する三河OLCでも、努力をしたつもりだが、力不足で、うまく若い仲間を増やすことに成功していない。年齢のギャップを感じる。若い人達だけのクラブを作った方が入り込み易いのかも知れない。

普及として「取り掛かり」と「定着」の2つのステップがある。

「取り掛かり」：既に日本人の大部分の人は一度はオリエンテーリングを体験したことがあるでしょう。「職場」「学校」などで。

「定着」：ほとんどの人は体験が愛好者や趣味のレベルにまで育っていません。それは、

- ・「またやりたい」と思ったが、そのチャンスを得ていない。
- ・オリエンテーリングは親睦などの一手段に過ぎず、目的のためには必ずしもオリエンテーリングに限る必要がない。
- ・技術向上を計る必要に迫られていない。(参加者間のライバル意識がない)

しかし、そういう「職場」や「学校」での大会の中でも、気持ちがあると思われる人が1人か2人見つかるはず。そんな人を勇気を出して次の大会に誘って見ましょう。

一般の大会への参加者は意識は高いと見てよい。参加者をフォローし、次の参加の機会を知らせてあげることが重要と思う。三河OLCではクラブ外の希望者に大会等の情報を毎月送り喜ばれているが、大会主催者が互いに参加者名簿を交換しあい、大会の案内をダイレクトメールで送ったり、名簿を一か所に集約し、大会情報集を初回だけでも無料でサービスすることもいいことだと思う。オリエンテーリングも頻度が少ないと向上感が無く、楽しさが半減してしまう。多くない大会を上手く活用することにより、参加の機会を増やしてあげられれば、主催者にとってうれしいことである。

オリエンテーリング普及の一助になればと思いついて見ました。全国協議会での活発な議論とオリエンテーリング発展のパロメータと思っている「O-JAPAN」の発展を願ってやみません。

## 村上緑地公園

千葉県八千代市

縮尺 1:5,000  
等高線間隔 2m



調査・作図  
1992年5月12日  
山川 克則氏

- サイクリング道
- 小道
- 小径
- 街灯
- ベンチ・人工物
- 建物
- 壁のない建物
- 遊具
- 水道
- 遊池
- 大木
- 給水機
- さく、湧き出し点
- 土境
- こぶ、凹地
- 植込込み
- 駐車場
- オープン
- 花壇
- 走行管理
- 通行可能
- 通行困難

KEIYO ORIENTEERING CLUB O-MAP (NO.39 1993.2)

O-MAPをつくらうというあなたの  
野心を応援します。力になります。  
O-MAP現地調査・作図・複製等

R.M.O-サービス

〒276 千葉県八千代市村上園地1-12-103  
代表 山川 克則 電話 0474(88)5162

山川克則氏の

R. M. O-サービスは  
上記のところに移転しました。

# パソコンレポート



りぽ〜と

□1992年3月7日(日)

千葉県 公認 No.650 ~大塚93-1~

「千倉」

[距離] 9km

[ポスト数] 10本 O-MAP

■スタート/JR内房線「千倉」駅前  
 ■地図取扱い/千倉駅前、観光案内所  
 1/15000 (昭和57年1月調査) 50円  
 ■マスターマップ/観光案内所の脇にあり  
 鮮明。観光案内所にも備付けがある。  
 但し、いずれも91年3月に新設された皆  
 の⑩番ポストの位置表示が抜けているの  
 で注意。■問合せ先/千倉町教育委員会  
 (☎0470-44-1111) 駅前千倉町観光案内  
 所 (☎0470-44-3581, 2309)

□

天気予報では午後から雨ということであ  
 ったが、予定したので出かけることに  
 した。案の定、千倉駅に着いた時は雨降  
 り。雨の中をスタートする。①は農道の  
 脇。②も農道を進んだ畑の過度にあり、  
 ちょっと単調な出だしの感。③は高家神  
 社の境内。葦葺き屋根の社に由緒を感じ  
 る。ここまでのポストはいずれも新品で  
 気持ちが良い。④は石碑の脇。続いて⑤  
 は蜜柑畑の先で、ここから山道に入るこ  
 とになる。この2つのポストは錆びて丈  
 も低い。記号は白ペンキできちんと書  
 かれているので問題はない。この山に入  
 るときから雨が更に激しくなってきたの  
 で、やむを得ず⑥⑦をあきらめ、山の周  
 囲を大きく迂回して⑧に向かう。⑥⑦の  
 山を越えた東側の山裾に⑨番ポスト。⑨  
 ⑩のポストも道のなりゆきでわかりやす  
 い。⑧⑨⑩のポストも①②③と同様、新  
 しいので遠目からもよくわかる。

最初に書いたとおり、駅前スタート地  
 点では⑩番ポストの位置がわからないの  
 で、教育委員会で聞くより致し方ない。  
 リポーター:

〒169 東京都新宿区高田馬場4-29-1

大塚 憲

## 史跡や田園駆け巡ろう

勢多・東村



OLコースの基点となる花輪駅

OLは自然の特徴を利用し  
 て設けられたポスト(地点  
 目録)を地図と磁石を使って  
 できるだけ早く回るといふ野  
 外スポーツ。  
 特別な施設や道具もいらな  
 いことから子供からお年寄り  
 までだれもが気軽に自然を満  
 喫しながら楽しめるスポーツ  
 として人気を極めていく。高  
 崎・順善山丘陵コースや太田  
 ・金山コースと県内には二  
 十数カ所のパーマネットコー  
 スが設置されている。  
 パーマネットコースは日本  
 オリエンテーリング協会認定  
 のハイキングコースが中心  
 で、同村では奥OL協会(高  
 山平会)の協力を得て昨  
 年七月からコースやポストの  
 設置場所の調査を行っている。

# 本格OL<sup>コース</sup>整備

## 5月にオープン大会

勢多郡東村が村内に設置するオリエンテーリング(OL)・パーマネット  
 コース整備が急ピッチで進み、五月にはオープン記念大会が開かれる。

る。

設置されるのは戦国時代の  
 砦(りで)跡、五葉田城跡  
 (萩原)などを巡るコース、  
 小夜戸地区の田園風景が満喫  
 できるコース、旧制あかが  
 わ街道の宿場街を巡るコー  
 スの3つで、いずれもわた

3月2日付

「上毛新聞」より

廿漢谷鉄道の花輪駅が基点  
 距離は各コース約十キロで  
 村内の名所旧跡はもちろん、  
 村出身の篤志の父・石原和  
 三郎や日本郵便を創立した今泉  
 一郎ゆかりの地など地元の人  
 が楽しみながら古里を再発  
 見できる醍醐味もされている。  
 五月十六日にはオープン記  
 念の「第一回わたらせ漢谷オ  
 リエンテーリング大会」が開  
 催される予定で、同村では参  
 加を呼び掛けている。問い合わせは東村役場企画観光課  
 OL大会係(〒271-03 勢多郡  
 東村花輪第1-2、☎0477-  
 20111)内線14、15へ。



## O-JAPAN '93年度 クラブ購読者 登録書

購読期間	1993年4月～1994年3月		購読料 2,700円	
クラブ名	正式名称			
8文字とします 略称名	.....	4文字とします アルファベット名称	.....	.....
種類	地域, 同好, 職域, 学校, 学校OB, 指導員, その他			
代表者	会長 専長 ( ) 氏名		任期 年 月まで	
事務局	住所 ☎ 宛名		電話	
創立年月	19 年 (昭和・平成 年) 月	会員数	名 (男 名 女 名)	
機関紙(会報)	有・無	名称	発行回数	回
入会	随時入会 可・不可		入会条件 無・有 ( )	
姉妹クラブ	無・有 (クラブ名 )		交流を希望 しない・する (相手地域 国内 国外 )	
クラブ紹介				

- ※1 1993年(平成5年)4月1日現在で、記入をお願いします。  
 ※2 クラブ名の略称名は、大会の成績表等に記載する名称です。  
 ※3 アルファベット名称は、海外でのクラブ略称名として使用します。  
 ※4 種類は、該当するものを選んでください。  
 ※5 クラブ紹介は、そのまま原稿として使用します。



## 植物性

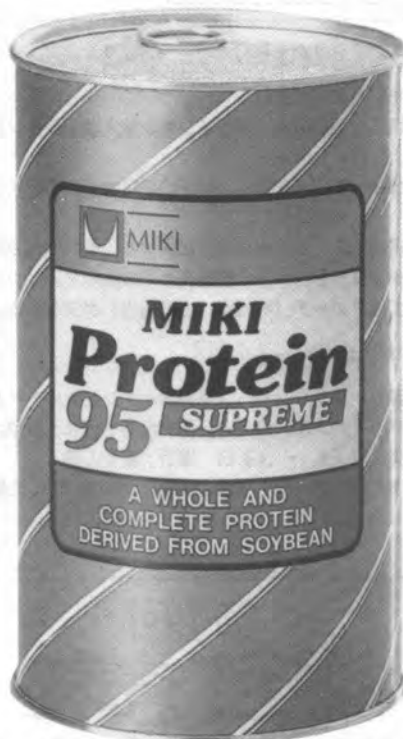
- 持久力・体力……健康の維持
- ノンコレステロールです

## プロテイン95

- 皮膚・毛・目・爪・筋肉組織・分泌腺・血・
- ホルモン等すべてプロテインで出来ている

## レシチン

- 脳神経系統内分泌腺及び心筋成分
- コレステロール分解



● お問合わせはO・J・A・P・A・N編集部まで

## オリエンテーリング地図印刷

社内報 団体・サークルの機関紙 記念誌  
PR誌 学校新聞 句集 歌集 詩集

あしび印刷 株式会社

〒220 横浜市西区西戸部町3-298  
神奈川県教育会館前  
☎045-231-5970 (代)

## SQUAD通信

## □WOC93の本セレクションレース

●5月23日

場所：望郷の森(岐阜インカレ個人戦テライン)

●7月4日

場所：未定(ただし、前回の朝日大会のテラインが有力)

※選出方法：全日本チャンピオンと、それぞれの本セレクションレース優勝者。その他の2人については、コーチ(村越真, 山岸倫也)が決定する。

## □ナショナルチームの合宿

予備セレクションレース通過者とナショナルチームメンバーを対象に、以下の日程で合宿を行なう予定。

●5月8-9日 場所：富士山麓

●6月12-13日 場所：青山高原(三重県)の予定

## 車各協だより

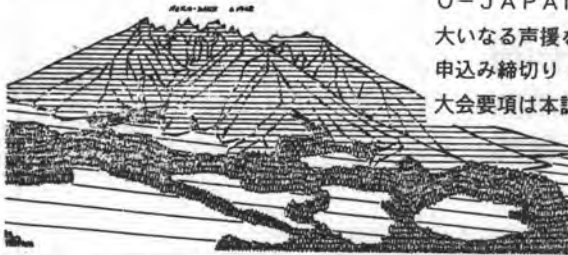
## □北信越OLクラブ連絡協 平成5年度総会の開催について

この度、北信越OLクラブ連絡協議会では、下記のとおり平成5年度総会を開催します。加盟クラブの皆様には、ご多忙中のこととは存じますが、ご参加くださいますようお願いいたします。

記

1. 日時 平成5年4月17日(土)午後4時30分集合
2. 場所 新潟県大潟町「玉屋旅館」TEL 0255-34-2131  
(JR信越本線「潟町」駅前、北陸自動車道・上越ICから15km)
3. 日程・総会 17:00~18:00  
・討論会 19:30~(懇親会を兼ねて行ないます)
4. 参加費 6500円(1泊2食 税別)
5. 問合せ先 山口 敏夫(富山OLK) TEL 0764-66-3288
6. その他・総会翌日の4月18日には、第7回新潟大学OL大会が開催されます。総会場からOL大会会場までは、車で1時間余りに到着します。  
・宿舎の都合もありますので、総会出席者につきまして4月8日(木)までにご連絡くださるようお願いいたします。

# 第1回 阿蘇 オリエンテーリング大会

O-JAPANはこの大会に  
大いなる声援を送ります。

申込み締切り：5月8日

大会要項は本誌次号に掲載します。

はたして  
白くて平らなわけの



1993年5月23日(日)

青森県青森市阿蘇町阿蘇山麓

## ◆主催◆

第1回阿蘇オリエンテーリング大会実行委員会

## ◆後援◆

高森町(予定)

高森町教育委員会(予定)

熊本県オリエンテーリング協会(予定)

中国九州四国学生オリエンテーリング連盟(予定)

&lt;オリエンテーリング広報誌&gt;O-JAPAN

第1回阿蘇オリエンテーリング大会実行委員会では、歌遊徑(ハナカ)の姿を見せ  
て横たわる阿蘇五岳のひとつ根子岳(わかし)の南裾野に広がる片斜面のテラインを。  
今回は阿蘇地域スーパーAテラインのほんの一部ではありますが、オリエンティアの  
皆様への「名刺代わり」として用意いたしました。

準備は、福岡OLCの曾根崎洋(0L16・17・18)・九州産業大学の岩井馨(0L17・  
18)の2名を中心に、年末年始・土日(休社)を返上して昨年度から進めて  
きております。「『富士』『八ヶ岳』に続くのは『阿蘇』において他にない!!」という事で  
九州オリエンティアにも気合いが入っております。

是非、この大会をあなたの1993年度上半期参加行事の1つに加えて頂きたいま  
す。大会会場近辺には大型旅館もありますので、クラブの新入会員歓迎会・新入部員  
歓迎コンパを企画されるというのはいかがでしょうか? 実行委員一同、皆様の参加を  
心よりお待ちしております。

O-JAPAN

発行人/田口 昭子

\* 購読料

\* 編集責任者/田口 肇

〒233 横浜市港南区日野南7-9-5

\* '93. 4月~'94. 3月 ¥3,000

\* Chief Editor: Hajime Taguchi

TEL. 045-891-7004 FAX. 045-891-2500

\* (高校生以下) ¥1,800

\* Editorial Address:

(Annex) 0287-77-1977

\* 1部あたり頒布価格 ¥250

\* 7-9-5, Hino-minami, Kohnan-ku

郵便振替口座/横浜7-46870

(加入者名) O-JAPAN 編集部

\* Yokohama, 233 Japan